

3. 用語解説

【アドミッション・ポリシー】

受験生に求める能力、適性等についての考え方や入学者選抜の基本方針。

【一般科目／専門科目】

一般科目とは、各学科に共通する国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、情報処理等の基礎的内容を教授する科目。

専門科目とは、学科ごとの専門的分野を深く追求することを目的とした科目。

【オープンキャンパス】

受験生が学校を選択する際の参考とするために開催する学校見学会、体験入学等の催し。一般の授業や課外活動等、学校生活の一部を体験することができる。

【オフィスアワー】

授業内容等に関する学生の質問等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯。

【外部評価】

学校の教育活動等について、学校側が選定する学外者から評価を受けること。

【科学研究費補助金（科研費）】

文部科学省及び日本学術振興会が所管し、日本の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野で、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする研究助成費。大学等の研究者又は研究者グループが自発的に計画する多様な学術研究のうち、それらの研究分野の動向に即して、ピア・レビューにより特に重要なものを取り上げ、研究費を助成する。萌芽期の研究から最先端の研究まで、多様なメニューで研究者を援助しており、その研究成果は、ノーベル賞をはじめ、研究者の国内外での様々な受賞につながっている。

【学修単位】

高等専門学校設置基準第17条第4項の規定について、独立行政法人国立高等専門学校機構が付した名称で、卒業要件の内、60単位を超えない範囲について、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、1単位の授業科目を45時間の学修とするもの。

【学生会】

全学生で構成される学生自治団体。学校の指導のもとに学生の自主的な活動をとおして、人間形成を助長し、学生生活を楽しく、規律正しいものにし、健全なる心身をつくり、自治能力を養うことを主な目的とする。中学校や高等学校における生徒会と同様の組織。

【共同研究制度】

大学等が企業・学校外機関等から研究者及び研究経費を受け入れて、教員が企業・学校外機関等の研究者や技術者と共通の課題について共同して行う研究制度。通常、共同研究期間中、当該校の実験機器・装置を利用することができる。

【コーオプ教育】

教室での学習と、学生の学問上・職業上の目標に関係のある分野での有意義な就業経験（インターンシップ）を通じた学習を融合する、組織化された教育戦略。

【主事】

校長の命を受け、専門的業務を掌理する職。通常、教務主事、学生主事、寮務主事が置かれ、それぞれ教育計画の立案その他教務に関する事、学生の厚生補導に関する事、寄宿舎における学生の厚生補導に関する事を掌理する。

【受託研究制度】

民間企業や国の機関又は地方公共団体等の機関から委託を受けて教員が行う研究で、これに要する経費を委託者が負担する制度。

【チューター制度】

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

【TOE I C】

アメリカのETSが開発した英語によるコミュニケーション能力を測定するためのテスト。TOE I Cは、Test of English for International Communicationの略。

【日本技術者教育認定機構（J A B E E）】

技術系学協会と密接に連携しながら、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかの審査・認定を行う非政府団体。

【ファイアウォール】

組織内部のローカルなネットワーク（Intranet）と、その外部に広がる Internet との間に、外部からの不正なアクセスを防ぐ目的で設置されるルータやホスト、又はその機能的役割のこと。名前の由来は、火の手を防いで延焼を食い止める「防火壁（firewall）」に因んでいる。

【ブックハンティング】

学生が書店等に行って、図書館に置きたい書籍等を直接購入する取組。